

郵便による投票



郵便で投票する場合、すでに選挙人名簿に登録していれば、新たに身分証明書を提出する必要はありません。有権者が選挙人登録または登録事項の変更を郵便での投票と同時に行う場合は、身分証明書として認められている文書の写しを必ず提出してください。

身分証明書として認められている文書がない場合は、保証人が必要です。保証人の正式な宣言には、選挙管理委員、弁護士、宣誓供述書の作成権限を持つ宣誓管理官のいずれかの立会いが必要です。

身分証明書 (ID) を
用意して
おきましょう

詳しいお問い合わせは
Elections BCへ

フリーダイヤル: 1-800-661-8683
(北米内のみ)

TTY: 1-888-456-5448

郵送先:

PO Box 9275 Stn Prov Govt
Victoria, BC V8W 9J6

電話: 250-387-5305

Fax: 250-387-3578

Faxフリーダイヤル: 1-866-466-0665

Email: electionsbc@elections.bc.ca

Website: elections.bc.ca



オンラインで名簿に登録するには
このコードをスキャンするか
elections.bc.ca/registerへアクセスしてください。



ELECTIONS BC
A non-partisan Office of the Legislature



選挙人の
身分証明書



選挙で投票するためにあなたの身分
と現住所を証明する方法

ELECTIONS BC
A non-partisan Office of the Legislature

州選挙で投票するために必要な身分証明書 (ID)

投票できる人は？

BC州の州選挙で投票するには次の要件を満たしていなければなりません。



- カナダ市民権を持つもの
- 最終投票日に満18歳以上であること
- BC州に過去6か月間居住していること

選挙人の身分証明書

投票する前に、選挙人の身分と現住所の証明が必要です。これには次の3つの方法があります。

オプション1: 次のいずれかのIDの提示



- BC州運転免許証 (BCDL)
- BCサービスカード (BCSC) (写真付き)
- BC州身分証明カード (BCID)
- 氏名、写真、現住所が表示されているBC州政府またはカナダ政府発行のカード
- 先住民ステータス証明書

オプション2: 氏名が記載されている次のいずれか2通のIDまたは文書の提示。このうち少なくとも1通には必ず現住所の表示があること。

政府発行の身分証明書等の文書

(例 BCケアカード、BCサービスカード (BCSC) (写真なし)、出生証明書、ソーシャル・インシュランス・ナンバー (SIN) カード、パスポート、市民権証／証明書、BCファーストネーションの自治機関発行のシティズンシップもしくはメンバーシップカード、メティネーションBCシティズンシップカード)

その他の政府発行の文書

(例 固定資産税評価書、所得税評価通知、政府発行小切手)

学校／カレッジ／大学発行の文書

(例 入学許可書、通知表、成績証明書、入寮許可書、授業料・諸費用明細書、学生証)

その他の文書

- バンクカード／クレジットカードまたは明細書
- 住所確認書 (Confirmation of Residence)
- 病院発行の本人証明用ブレスレット／文書
- 保険明細書
- 会員カード
- 住宅ローン明細書
- 個人小切手 (銀行が印刷したもの)
- 処方せん薬の容器
- 州選挙投票所入場券 (Where-to-Voteカード)
- 公共交通定期券
- 住宅賃貸リース契約
- 法定宣誓書
- 光熱費請求書

その他の文書は elections.bc.ca/id に掲載されています。

オプション3: 本人であることを証明してもらう

必要とされる身分証明書を持っていない場合、保証人に本人であることを保証してもらうと選挙人名簿に登録して、投票することができます。

保証人は必要な身分証明用文書の提出が義務付けられており、次のいずれかに該当する人になることができます。

- 当該有権者と同じ選挙区内に住み選挙人として登録されている者
- 配偶者、親、祖父母、成人した子供、孫、兄弟姉妹のいずれか
- 保証が必要な有権者について、身の回りの介護の決定に関する法的権限を付与されている者

保証人は身分証明書の提示が義務付けられています。被保証人 (すなわち本人であることを保証してもらう人) 並びに保証人両者ともそれぞれが、被保証人の身分と住所を確認する正式な宣言を行わなければなりません。

保証人が被保証人の親族ではない場合や身の回りの介護に関する権限を付与されていない場合は、有権者1人だけに対して保証人となることができます。親族は、家族であれば複数の有権者の保証人になることができます。身の回りの介護に関する権限を付与されている人は、権限書に記載の有権者全員の保証人となることができます。

保証をしてもらった有権者は、当該選挙で他の有権者の保証人にはなれません。